

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月13日作成)

小委員会名	都市・建築デザインのための人間環境学刊行小委員会	主査名：宗方 淳 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：大岡龍三 主査名：秋元孝之
設置期間	2022年4月 ～ 2024年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>『人間環境学』(1998年4月刊行、朝倉書店)が刊行されてから20年が経過した。この間の学問分野の発展を考慮し、それらの内容を含む全面的な改訂版を刊行する。</p> <p>初年度：前身の小委員会において、第1巻『都市・建築デザインのための人間環境学』の原稿のとりまとめを行ったので、初年度は、刊行に向けた作業を行う。刊行した書籍を用いて、普及のためのシンポジウムの開催を計画する。引き続き、第2巻の企画・内容について詳細な検討を重ね、書籍の完成形や本文の語り口、難易度などの諸点について委員間で認識の共有化を図る。これまでの議論を元にして、各章・各節の順序や内容、範囲などについて検討する。</p> <p>2年度：初年度に刊行を完了した第1巻『都市・建築デザインのための人間環境学』を普及するために刊行記念シンポジウムを開催する。並行して、第2巻の企画・内容について、検討を行う。概要がまとまった時点で、執筆者に執筆を依頼し、第一次原稿を収集、委員相互で意見交換を行い、その後、最終原稿に向けた作業を行う。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 主査：宗方淳(千葉大学) 幹事：辻村壮平(茨城大学) 委員：松原斎樹(京都府立大学名誉教授)、大野隆造(東京工業大学名誉教授)、讃井純一郎(関東学院大学名誉教授)、大井尚行(九州大学)、合掌頭(岐阜大学)、土田義郎(金沢工業大学)、山中俊夫(大阪大学)、佐野奈緒子(東京電機大学)、白川真裕(聖徳大学)、秋田剛(東京電機大学)、諫川輝之(東京都市大学)、西名大作(広島大学)	
設置WG (WG名:目的)		
2023年度予算	150,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項目	自己評価
委員会開催数	1回(年度内計画を含む) *ML審議として開催予定
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 初年度刊行した書籍に関連するシンポジウムテーマやその開催方式に関してML上で意見交換を行った。
委員会活動の問題点・課題	特になし

*中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2023年度 小委員会活動 自己評価 (中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	B
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	出版された書籍を基にしたシンポジウムのアイデアについての意見交換は相応になされたものの、設置期間内にシンポジウムの実施には至らなかった。一方、この議論においては、旧版を改定したという今回の書籍の性質上、単に新たに出版された書籍の内容を紹介するだけのシンポジウムではなく、旧版の出版以来の四半世紀近くに渡る人間環境学／環境心理生理学の発展や今後の展望を議論する形にすべきではないか、という建設的な提案がなされていることから、改めて環境心理生理運営委員会の場においてテーマについて検討することとなった。以上の状況より、総合評価はBと判定した。

- 総合評価は4段階 (A>B>C>D) にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。
- 提出対象年：設置期間4年の場合は、2年目「中間年度評価」、4年目「最終年度評価」（1年目・3年目不要）
設置期間3年の場合は、2年目「中間年度評価」、3年目「最終年度評価」（1年目不要）
設置期間2年の場合は、1年目「中間年度評価」、2年目「最終年度評価」
設置期間1年の場合は、1年目「最終年度評価」